



レジオネラ属菌が検出されたら

レジオネラ属菌が検出されたらすぐに保健所に相談しましょう。

原則として、浴槽の使用を自粛しましょう。

どうしても自粛が困難で使用を継続する場合は、細心の注意が必要です。使用を継続するリスクを考慮し、今一度自粛を検討しましょう。

気泡発生装置を停止しましょう。

可能な限り毎日、同一循環系統浴槽水の完全換水を実施し、その都度、浴槽、ろ過装置及び配管の清掃及び高濃度塩素（5～10mg/L・数時間循環、一晩放置が望ましい）又は、高温（60℃以上・数時間）による消毒を実施しましょう。

残留塩素濃度を1.0mg/Lに保ちましょう。

高濃度塩素*（40～50mg/L・5～8時間循環）、過酸化水素*（3%・3～4時間循環）等により配管等の生物膜の除去を実施しましょう。

自主検査を実施し、「レジオネラ属菌が検出されないこと」を確認しましょう。

検出されない場合は対策は終了です。保健所に連絡しましょう。

検出された場合

*高濃度塩素、過酸化水素使用後は中和剤による中和処理が必要です。必ず中和処理をして排水しましょう。

保健所の連絡先

保健所名	管轄市町村	電話番号
岡山県備前保健所	玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町	(086) 272-4038
岡山県備中保健所	笠岡市・井原市・総社市・浅口市・早島町・里庄町・矢掛町	(086) 434-7027
岡山県備北保健所	高梁市・新見市	(0866) 21-2837
岡山県真庭保健所	真庭市・新庄村	(0867) 44-2918
岡山県美作保健所	津山市・美作市・鏡野町・勝央町・西粟倉村・久米南町・美咲町・奈義町	(0868) 23-0133
岡山市保健所	岡山市	(086) 803-1258
倉敷市保健所	倉敷市	(086) 434-9830

入浴施設でレジオネラ症を発生させないために



レジオネラ症について

レジオネラ症とは、レジオネラ属菌が引き起こす感染症です。症状で、重症化し死亡例もあるレジオネラ肺炎と、数日で自然治癒する場合が多いポンティアック熱に分けられます。

レジオネラ症の病型

	レジオネラ肺炎	ポンティアック熱
症状	高熱、呼吸困難、筋肉痛、吐き気、下痢、意識障害	発熱、寒気、筋肉痛
特徴	急激に重症化 死亡する場合もある	一般に軽症 数日で治る場合が多い

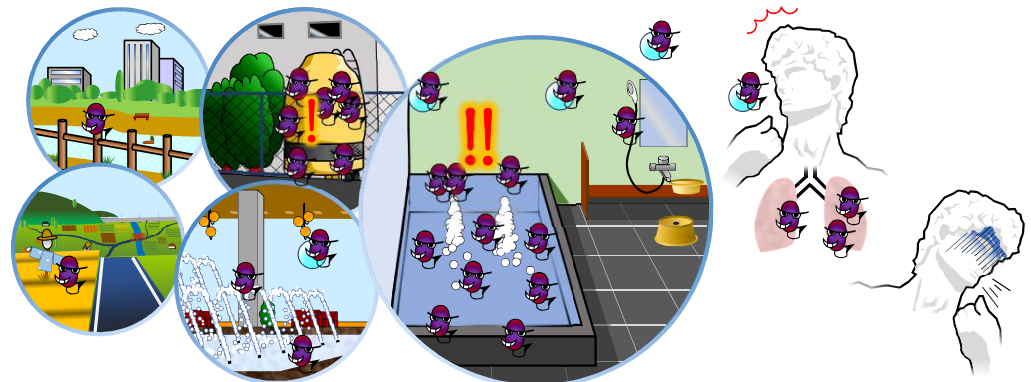


レジオネラ属菌について

レジオネラ属菌は、自然界の土や水の中に広く生息している細菌で、一般に36℃前後で最もよく増え、20～50℃の範囲で増殖できると言われています。水のある場所で、消毒や清掃が十分でないとなめりができます。レジオネラ属菌はここで繁殖します。

身の回りでは、循環式浴槽水や冷却塔水などから度々検出されます。

レジオネラ属菌に汚染された浴槽水などから発生した、目に見えないような細かい水滴を吸い込んで、菌が肺に達するとレジオネラ症になることがあります。

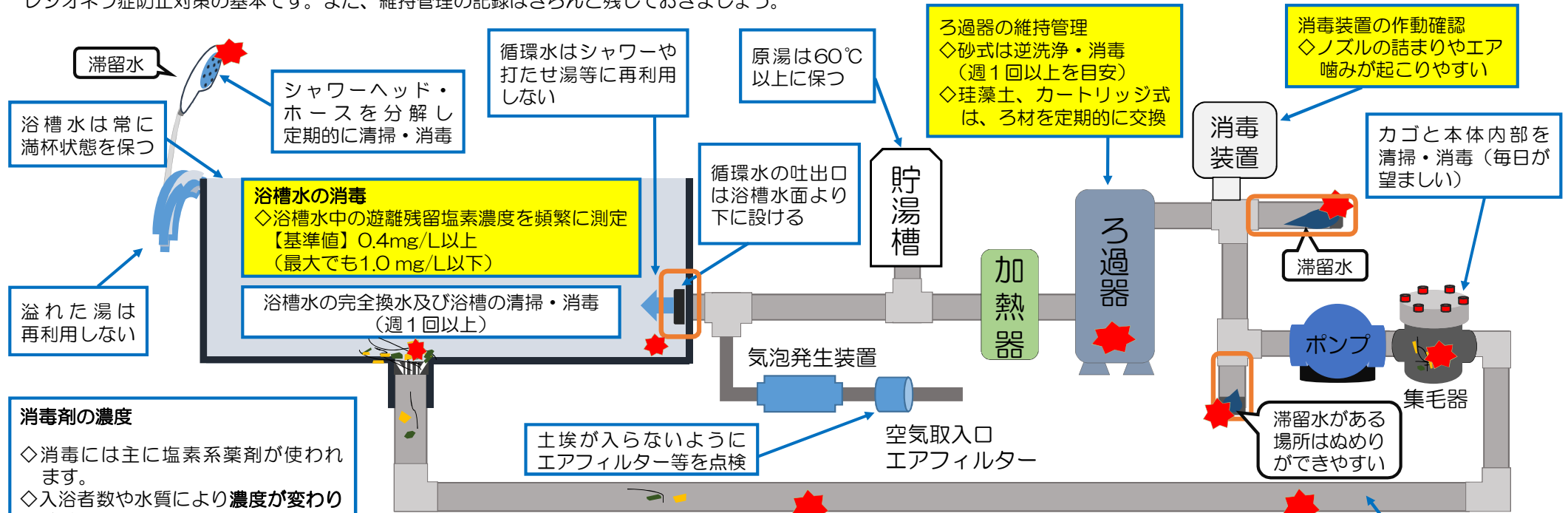




各設備における管理方法・消毒方法

循環式浴槽の管理の要点

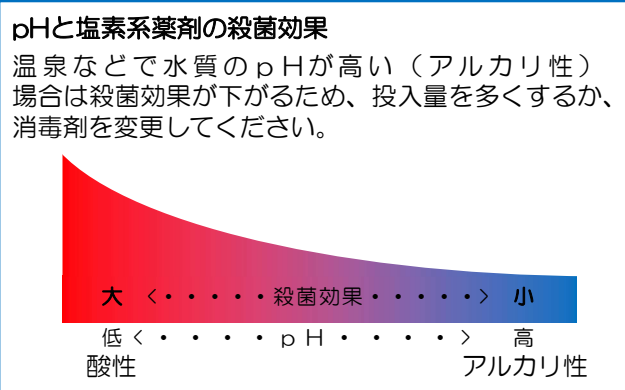
レジオネラ属菌の住みかとなる「ぬめり」が出来ないう、日常の維持管理をしっかりとすることがレジオネラ症防止対策の基本です。また、維持管理の記録はきちんと残しておきましょう。



★ 「ぬめり」が発生しやすい場所

■ 維持管理記録を3年間保存する

消毒剤の濃度
 ◇消毒には主に塩素系薬剤が使われます。
 ◇入浴者数や水質により濃度が変わりやすいので、基準値の範囲になるよう投入量を調整してください。



浴槽水などの水質検査
 原水（水道を除く）及び浴槽水は1年に1回以上水質検査を行ってください。

水質基準	原水（水道水を除く）	浴槽水
色度	5度以下(※)	—
濁度	2度以下(※)	5度以下(※)
pH	5.8～8.6(※)	—
過マンガン酸カリウム消費量 又は 全有機炭素量	10 mg/L以下 又は 3 mg/L以下(※)	25 mg/L以下 又は 8 mg/L以下(※)
大腸菌	100 mL中に検出されないこと	1 個/mL以下
レジオネラ属菌	10 CFU/100 mL未満	10 CFU/100 mL未満

(※)温泉や薬湯の場合は一部基準が緩和されます。

定期的な循環ろ過システム全体の洗浄・消毒

配管やろ過器は浴槽水を消毒する塩素濃度では消毒が不十分です。定期的に次の洗浄・消毒を実施してください。

◇高濃度塩素（5～10mg/L）を数時間循環 または 60℃以上の湯を数時間循環させて消毒（週1回以上を目安）

◇専門業者による過酸化水素水等を用いた配管等の化学的洗浄（年1回以上を目安）